

第 8 8 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 2 年 1 月 2 8 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 金澤 一郎

(副会長) 大垣眞一郎、鈴村興太郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾、小林 良彰、木村 茂光、山本 眞鳥

(第二部) 浅島 誠、山本 正幸、鷲谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介

(事務局長) 竹林 義久

(事務局次長) 綱木 雅敏

(課長等) 井上 卓、市川 高義、廣田 英樹、古西 真、原嶋 耐治、
影山 洋一

審議事項等

1 非公開審議事項について審議が行われた。

(1) 連携会員の御逝去に伴う、補欠の連携会員の候補者を決定した。

(2) 国際人権ネットワーク対応委員会の委員の決定が承認された。

(3) 国際委員会における分科会の委員の決定が承認された。

(4) 分野別委員会における委員会等の委員の決定等が承認された。

(5) 外部委員候補者の推薦について承認された。

(6) その他事項として次のことについて話し合われた。

・「これからの科学・技術研究についての提言」(神経科学者ソーシャルネットワークワーキングサービス「事業仕分けコミュニティ」) について話し合われた。

・唐木副会長から IAP 声明「経済危機を超えて：地球規模での科学とイノベーションの活性化」に関しての経過報告があった。

・大垣副会長から学会名鑑のデータベース化について説明があった。

2 前回議事要旨等の確認が行われた。

3 審議事項について、審議が行われた。

(1) 報告「黄砂・越境大気汚染物質の地球規模循環の解明とその影響対策」について、農学委員会風送大気物質問題分科会真木太一委員長、青木正敏副委員長から説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することになった。

(2) 日本学術会議協力学術研究団体の指定について承認された。

(3) 平成 2 1 年度代表派遣 (平成 2 2 年 3 月分) について承認された。

(4) イスラエル科学・人文科学アカデミー創立 50 周年記念式典への会員の派遣について承認された。

(5) シンポジウム等の主催、国内会議の後援について承認された。

4 その他事項として次のことについて話し合われた。

(1) 金澤会長から 4 月以降の課題別委員会の審議テーマを各部で検討の上、2 月 1 9 日までに提出いただきたい旨の発言があった。

(2) 第 2 1 期の当初における課題別委員会の設置について (平成 2 0 年 1 2 月 2 5 日第 7 0 回幹事会決定) については、「日本の展望」に関する審議状況を考

慮し、今後適用しないことを確認した。

- (3) 科学者委員会学術誌問題検討分科会浅島分科会委員長から今後行う提言についてのスケジュール等について説明があった。
- (4) 事務局長から平成22年度予算案、委員手当の執行状況、日本学術会議の政策提言をもとに実現した各府省庁等の主な施策（素案）等について報告があった。